



ながしま

議会だより

NO.32



まもなく開通40周年

島民の夢であった長島と阿久根市を結ぶ『黒之瀬戸大橋』が昭和49年4月9日開通。本年4月に開通40周年を迎える。

3月定例会

(H26.3.3～3.11)

定例会で決まったこと	2～6
施策を問う（一般質問）	7～9
常任委員会の審査報告	10～11

平成26年度一般会計 当初予算は骨格予算

一般会計予算総額71億3272万7千円

平成26年度の一般会計予算のほか、国民健康保険、国民健康保険診療施設、へき地診療施設、介護保険、簡易水道、諸浦港埠頭、農業集落排水、漁業集落環境整備、特定地域生活排水、水産種苗供給、後期高齢者医療の11特別会計予算を原案可決した。

今回、計上された予算の主な事業は次のとおり。

主な事業

町長選挙費	789万円
町議会議員選挙費	149万円
世界農林業センサスの経費	253万円
子宝お祝い金の支給	630万円
児童手当の支給	1億9935万円
子ども医療費の助成	3245万円
海岸漂着物の回収、処理や発生抑制	3238万円
家庭ごみ収集、運搬や粗大ごみ処理等の経費	1億2731万円
し尿処理の負担金等	2621万円
水産加工グループの育成補助	2918万円
中山間地域等直接支払事業	5004万円
青年の就農意欲喚起、所得確保等への給付金	2100万円
小浜崎古墳群展望公園取付道路の改良工事	450万円
蔵之元、指江、広野、山中の農道整備	5750万円
町道瀬戸小島線の整備	5000万円
町道薄井港線の整備	3120万円
町道鷹巣三船線の整備	5000万円
英語指導助手（ALT）の配置	1005万円
獅子島カヌー大会の開催	200万円



瀬戸小島線と国道の交差点付近を整備



広野の農道を改良



拡幅される薄井港線



整備される町道鷹巣三船線（交差点）の現地を調査する建設経済文教常任委員会

平成26年第1回長島町議会定例会は、3月3日から11日までの9日間の会期で開かれた。

骨格予算として編成された平成26年度の一般会計予算（71億3272万7千円）や特別会計予算、平成25年度の補正予算、長島町子ども・子育て会議条例の制定、日本マンガリセンター展示園の指定管理者の指定など議案35件を可決した。

このほか、長島町議会運営委員会の発委により長島町議会委員会条例の一部を改正し、PPP交渉に関する陳情書1件を採択した。

契約

長島港（諸浦地区）港整備の契約変更

長島港（諸浦地区）港整備交付金工事（1工区）を株式会社長崎組と1億4017万5千円で契約締結していたが、突堤10mの追加工事を実施するため、契約金額を1億4877万6千円に増額する変更契約を締結することを議決した。



追加工事を実施する長島港（諸浦地区）

長島港（諸浦地区）港整備交付金工事（2工区）を株式会社大島造船所九州営業所（福岡市）と8731万8千円で契約締結していたが、可動橋（操作室）の追加工事を実施するため、契約金額を9378万円に増額する変更契約を締結することを議決した。

指定管理

ふれあい交流センターの指定管理

長島町ふれあい交流センター（指江）の効果的かつ効率的な管理を図るため、平成26年4月1日から平成26年9月30日まで有限会社長島観光プランニングを指定管理者として指定した。



長島町ふれあい交流センター

指定管理

自然休養村センターの指定管理

長島町自然休養村センター（指江）の効果的かつ効率的な管理を図るため、平成26年4月1日から平成26年9月30日まで有限会社長島観光プランニングを指定管理者として指定した。



長島町自然休養村センター

指定管理

日本マンダリンセンター展示園の指定管理

日本マンダリンセンター展示園（鷹巣）の効果的かつ効率的な管理を図るため、平成26年4月1日から平成31年3月31日まで株式会社岩下建設を指定管理者として指定した。



日本マンダリンセンター展示園

指定管理

農林水産物処理加工施設の指定管理

長島町農林水産物処理加工施設（指江）を効果的かつ効率的な管理を図るため、平成26年4月1日から平成31年3月31日までサンレディーながしま加工組合を指定管理者として指定した。



長島町農林水産物処理加工施設

条例

議会委員会条例の改正

長島町議会議員定数条例の改正に伴い議員定数が14人になることから、総務民生常任委員会と建設経済文教常任委員会の定数を各8人から7人へ1減するため、長島町議会委員会条例の一部を改正した。

消費税・地方消費税の税率改正に伴う条例整備

平成26年4月1日から消費税および地方消費税の税率が改正されることに伴い、長島町行政財産目的外使用料徴収条例など関係条例の整備に関する条例を制定した。

子ども・子育て会議条例の制定

子ども・子育て支援法の制定を踏まえ、町が実施する児童福祉法、その他の子どもに関する法律による施策について調査審議する機関として、長島町子ども・子育て会議を設置する必要があるため、長島町子ども・子育て会議条例を制定した。

社会教育委員会条例を改正

社会教育法の改正により、社会教育委員の委嘱についての基準を条例で定めることに伴い、長島町社会教育委員会条例の一部を改正した。

その他

北薩広域行政事務組合の規約改正

北薩広域行政事務組合規約の事務所の位置を「理事長の属する市役所又は町役場内」から、現所在地の「出水市野田町下名703」へ改正することを議決した。

TPP交渉に関する陳情

鹿児島いずみ農業協同組合代表理事組合長 内村正男氏、県農民政治連盟いずみ総支部東支部長 宮路義輝氏、県農民政治連盟いずみ総支部長島支部長 町口孝治氏から提出された「TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する陳情書」を採択し、同趣旨の意見書を可決した。

陳情

自治功労者表彰

全国町村議会議長会から、町議会議員として15年以上在職し功労のあった者として下塩見浩議員が表彰され、鹿児島県町村議会議長会から、町議会議員として15年目の在職にあたり功労のあった者として田中正隆議員と原口秀昭議員が表彰された。



原口 秀昭 議員



田中 正隆 議員



下塩見 浩 議員

指定管理

コミュニティ施設の指定管理

長島町コミュニティ施設の効果的かつ効率的な管理を図るため、施設ごとに平成26年4月1日から平成31年3月31日までの指定管理者を指定した。

施設と指定管理者は次のとおり。

- 川床コミュニティセンター／川床コミュニティセンター運営委員会、○御所ノ浦高齢者コミュニティセンター／御所ノ浦自治公民館、○山門野コミュニティセンター／山門野コミュニティセンター運営協議会、○浦底コミュニティセンター／福ノ浦自治公民館、○諸浦コミュニティセンター／葛輪自治公民館、○伊唐アイランドセンター／伊唐自治公民館、○獅子島アイランドセンター／獅子島アイランドセンター運営委員会



川床コミュニティセンター



御所ノ浦高齢者コミュニティセンター



山門野コミュニティセンター



浦底コミュニティセンター



諸浦コミュニティセンター



伊唐アイランドセンター



獅子島アイランドセンター

一般質問

一般質問 町政を問う

濱 実男 議員



小・中学校の統廃合は

濱議員 中学校の統合場所が、なぜ長島高校跡地なのか、疑問である。

答弁 町長 住民の意

濱議員 鷹巣地区の同意は得られそうにないが、町長の考えを伺う。

また、交通の利便性や住宅環境が整備された地域が最適と考えている。財政的に効率的な内容であれば総合的に判断する。

答弁 教育長 長島高校跡地として提案した理由は、4校のうちどこか1校を残して、3

校を廃校にした場合、廃校した3校区に不公平感があると思われる。

スクールバスで運ぶとしても、通学距離を考慮しなければならぬ。

敷地的にみても校舎、グラウンドなど、統合した場合に部活動の種類やスクールバスの乗降など考慮すると広大な面積が必要だと考える。

このようなことから、長島高校跡地が適地であると判断した。

濱議員 鷹巣地区の同意は得られそうにないが町長の考えを伺う。

答弁 町長 地域の情熱が足りないのではない。地域からの根強い声は聞こえない。財政的に効率的な内容であれば総合的に判断していく。

濱議員 地域への説明会はどのように考えているか。

答弁 教育長 現在、長島町立小中学校等統廃合推進委員会が2回協議したが、まとまらない。施設整備など財政面等で町長部局と検討したい。

方向性を決めていたのだいた後、これでいけるということであれば、各地域で説明会を実施していきたい。

濱議員 通学手段は、スクールバスで対応すると考えるが。

答弁 教育長 中学校を1校にするとスクールバスが必要になる。また、検討段階であり、今後具体的に詰めて協議を進めていく。

濱議員 児童・生徒により良い教育をさせて

やりたい。このことは教育委員会の方々も地域の皆さんも同じである。

学校がなくなること地域が寂れることなく、納得がいく形での統合を希望する。



鷹巣中学校



長島高校跡地



小川 武男 議員

人材づくり基金創設を

小川議員 「人づくりは町づくり」の言葉もあるように、これから長島を背負って立つ人づくりが重要である。そこで、「人材づくり基金」の創設ができないか伺う。

いききたい。

観光産業の発展を

大中岳の巨石をパワースポットに
小川議員 大中岳の頂上は巨石が散在し、静寂の中に力が湧き出る感がある。

次代の長島を担う人材の育成策は重要

答弁 町長 子どもから大人まで次代の長島を担う人材の育成策は重要である。今後は、研修事業の範囲、対象者、規模、財源等、更には基金が必要か含めて研究して

長島で一番高い大中岳山頂を「長島のパワースポット」にできないか伺う。

石をテーマの観光拠点開発を

答弁 町長 大中岳には巨石が散在して、石と木々がかもし出す神秘的なエリアで、パ

ワースポットとしての魅力が十分にあると感じている。

また、町内には他にも巨石が点在しているところもあり、石をテーマとした観光拠点開発はおもしろいと思う。

今後は、最小限の整備に留め、自然散策・森林浴を取り入れたパワースポットとしての活用を考えている。

新しい観光パンフレット作成を

小川議員 これまでの観光パンフレットは何種類も作成され、観光客の案内に役立っている。

国民文化祭の開催も予定されている。これを機に点在する観光スポット間を繋ぐルートや所要時間等を明記した新しいパンフレットの制作ができないか伺う。

国民文化祭に向けて作成計画を

答弁 町長 町内に点在する観光地を繋ぐルートの構築を進め、見て、食べて、買って長島を満喫できるパンフレットを国民文化祭に向けて作成を計画している。

高串崎公園を指定管理者制度で管理を

小川議員 高串崎公園（蔵之元）の管理状況は十分といえない。フェンスの張替や手摺の設置、トイレの新設等を行い、自然公園としての価値を高め、指定管理者制度で年間を通じた管理ができないか伺う。

当分は現在の管理で
答弁 町長 公園内の施設は老朽化して、整備には相当な経費がかかる。

本年6月から園内一周道にツワブキを植栽する計画である。当分は現在の管理を続けていく。

施設の整備は4月以降に検討し、必要な施設は整備する。

観光大使を委嘱し、全国にPRを

小川議員 本町出身者やゆかりの深い方で全国区で活躍している人を観光大使に委嘱して、全国に情報発信する考えを伺う。

ながしまふるさと大使制度の活用で
答弁 町長 これまでに39名の観光大使を委嘱している。今後も町内外で活躍している長島にゆかりのある方を発掘してこの制度を活用していく。

その他の質問

※橋（ブリッジ）と鮎養殖場を繋いだコースでハーフマラソン大会および駅伝大会の実施について質問を行った。



高串崎公園



田中 正隆 議員

石張、花壇の将来における管理体制は

田中議員 国・県道の花壇に花植栽、石積、石張を実施しているが、担当等の転退職により、将来の維持管理体制に懸念をいだくが体制づくりを伺う。

努める。

黒之瀬戸大橋の沿革、記念碑を

田中議員 黒之瀬戸大橋開通後、この4月で開通40周年を迎えようとしている。だんだん市場周囲に料金徴収所があったが、売却している。本町の現在、ありとあらゆる発展の源と思ひ、あの周辺に「黒之瀬戸大橋までの沿革」名称板、「開通記念碑」を建立して、後世に残せないか。

答弁 町長 将来における管理体制については、夢追いふると長島景観基金で運用していく。

町民の花への意識向上と理解、ご協力をいただき景観協定団体やボランティアの育成に

農畜産物処理加工施設の確な管理体制づくり

計画があり、時期を見て検討していきたい。

田中議員 鷹巣に平成4年度設置した「農畜産物処理加工施設」が現在休止しているが、自家用みそ加工を、町外にいる親戚に送って喜ばれていたが、これを再開して町民へ広く活用できないか。

※この施設を利用した人が、町外へグループ毎に出向いている。

答弁 町長 農畜産物処理加工施設の適確な管理体制づくりについて、町有施設のあり方検討委員会の答申に基づいて、平成24年度に町営方式から指定管理者制度へ移行してきているところである。

傍聴においでください

次回定例会は 6月上旬 開会予定です

長島町議会の本会議は公開されていて、どなたでも傍聴することができます。

次回定例会は、6月上旬の開会を予定しています。皆さんの傍聴をお待ちしています。

なお、役場ロビーや長島町ホームページでも議会中継を見ることができます。



常任委員会の審査報告

各常任委員会の主な審議内容を紹介します。

総務民生常任委員会 委員長 小川 武男

▼総務課関係

問 防災行政無線管理費1311万1000円の内容は。

答 防災行政無線のデジタル化に伴う周波数割当を九州総合通信局で行うための旅費5回分計上している。

▼企画財政課関係

問 バス運行負担金140万6000円計上しているが、内容と実績は。

答 出水駅蔵之元港間シャトルバス運行負担金である。平成24年度の実績は、出水駅発が4460人、蔵之元港発が5189人で、合計9649人利用している。

▼町民福祉課関係

問 臨時福祉給付金支給事業7060万8000円、子育て世帯臨時特例給付金1792万7000円の内容は。

答 滞納整理指導員1名分の賃金で、滞納者に対して差し押さえ指導や町全体の税の指導も行う。平成24年度の滞納者への徴収率は、約34・9パーセントである。

▼保健衛生課関係

問 海岸漂着物地域対策推進事業費3238万円の内容は。

答 建物は使用料は無料である。他の医療器具等は協議して負担割合を決めている。契約期間は3年である。

▼診療所関係

問 平成26年度長島町国民健康保険診療施設特別会計予算

答 建物使用料は無料である。他の医療器具等は協議して負担割合を決めている。契約期間は3年である。

林行政に必要な基礎資料を得るため行うもの。調査員報酬76名分を計上している。

▼税務課関係

問 賦課徴収費、筆耕人夫賃金123万3000円の内容は。

答 滞納整理指導員1名分の賃金で、滞納者に対して差し押さえ指導や町全体の税の指導も行う。

▼建設課関係

問 海産物回収・処理や発生抑制対策を実施するもの。常勤の臨時職員20名雇用の他

に、15集落にお願いし、実施する賃金等である。

▼環境衛生課関係

問 環境衛生一般経費で250万9000円計上しているが内容は。

答 ごみ減量化のための材料代や生ごみ処理機購入補助等で生ごみ処理機10台、コンポスト3基の補助金やダンボールコンポスト材料代である。

▼保健衛生課関係

問 平成26年度後期高齢者医療特別会計予算

答 医師・看護師・事務員の嘱託賃金や医薬材料費が主なものである。嘱託賃金は、勤務割合により按分し、4月から6月までが獅子島診療所分、7月以降が鷹巣診療所分で計上している。

万7000円の内容は。

答 消費税の引き上げに伴い、低所得者に与える影響を考え、社会保障の充実のための措置と併せ、低所得者に対する適切な配慮を行うため、給付措置をするもの。

▼建設課関係

問 既存の施設の解体後、潮の干潮で船がうまく接岸できるように階段を設置してほしいという要望がある。

答 可動橋の検討会がある関係機関と調整、協議、確認をして必要があれば設置したいと思っている。

▼建設課関係

問 可動橋の検討会がある関係機関と調整、協議、確認をして必要があれば設置したいと思っている。

答 可動橋の検討会がある関係機関と調整、協議、確認をして必要があれば設置したいと思っている。

▼建設課関係

問 可動橋の検討会がある関係機関と調整、協議、確認をして必要があれば設置したいと思っている。

答 可動橋の検討会がある関係機関と調整、協議、確認をして必要があれば設置したいと思っている。

▼建設課関係

問 可動橋の検討会がある関係機関と調整、協議、確認をして必要があれば設置したいと思っている。

答 可動橋の検討会がある関係機関と調整、協議、確認をして必要があれば設置したいと思っている。

平成26年度長島町へき地診療施設特別会計予算

問 獅子島診療所医科医業費5595万1000円の内容は。

答 医師・看護師・事務員の嘱託賃金や医薬材料費が主なものである。嘱託賃金は、勤務割合により按分し、4月から6月までが獅子島診療所分、7月以降が鷹巣診療所分で計上している。

▼保健衛生課関係

問 平成26年度後期高齢者医療特別会計予算

答 医師・看護師・事務員の嘱託賃金や医薬材料費が主なものである。嘱託賃金は、勤務割合により按分し、4月から6月までが獅子島診療所分、7月以降が鷹巣診療所分で計上している。



農道整備（山中）の現地を調査する建設経済文教常任委員会

建設経済文教常任委員会 委員長 下塩見 浩

▼水産商工課関係

問 恵比寿市運営補助金で開催月によって、魚の種類や数量が違うようであるが対策は講じているか。

答 出店の内容が悪くなるようであれば、客足も遠のくので、悪循環が起きないように対策を講じている。しかし、なかなかうまくいかない状況である。

▼農業委員会関係

問 農地法3条、4条、5条の申請の増減と太陽光発電施設の件数は、どうなっているか。

答 農地法の件数は昨年比べて、さほど増減はない。太陽光発電の申請は、平成24年度3件、平成25年度10件で合計13件となっている。

▼学校教育課関係

問 英語指導助手設置事業で、児童生徒の英語力アップの成果はどのくらいか。

答 中学校の学力調査で、他の教科より得点が高いという結果が出ている。担当教員の指導力もあるが成果が出ている。

▼町民福祉課関係

問 臨時福祉給付金支給事業7060万8000円、子育て世帯臨時特例給付金1792万7000円の内容は。

答 滞納整理指導員1名分の賃金で、滞納者に対して差し押さえ指導や町全体の税の指導も行う。

▼農林課関係

問 町内には、227名の認定農家がいる。今後の農業振興や支援のために予算の増額は、考えられないか。

答 6月補正で検討したい。

▼農林課関係

問 町内には、227名の認定農家がいる。今後の農業振興や支援のために予算の増額は、考えられないか。

答 6月補正で検討したい。

まちの話題



七郎山目指して一斉にスタート

限定 600 人が獅子島を満喫

獅子島アイランドセンターを発着点として七郎山山頂を折り返し、片側集落内を巡るコースで2月2日、獅子島ウォーク2014が開催された。

毎年、申し込みが殺到する同大会。今年は約1500人の応募の中から抽選で600人が選ばれ、早春の獅子島を満喫した。

発着点には獅子島フェアと称して出店も並び、捕れたての海産物が人気を呼んでいた。

ふるさと長島を懐かしむ

今回で7回目を数える『関西ながしま会交流会』が3月16日、大阪市の太閤園で開催された。

交流会には、関西近隣在住の同会会員をはじめ本町から行政、議会、産業関係者らが参加。総勢約230人が歌や踊り、抽選会などで親睦を深め、ふるさと長島を懐かしんだ。



交流会参加者による記念撮影

◆編集後記

本町の畑地帯が緑一色となりました。基幹作物であるバレイショが順調に生育しております。

これまで2年連続の打撃を受けましたが、今年は好転してほしいと願っております。

昨年10月下旬、町議会の活性化と議員の役割を果たすため、第2回「町民と議会の意見交換会」を開催しました。意見交換会で提案されたことは、今後の議員活動に十分生かされ、議会の活性化が図られることと思います。(川上)

【発行責任者】植元 敏光

【編集委員長】林 義明

【編集副委員長】古田 一博

【委員】川上 勇

福永 伸親

石橋 東